わっかない市議会だより

平成12年12月1日
第93号

厳寒の
北の大地に映える
秀峰 利尻富士

発行　稚内市議会
編集　編集委員会
電話　23-6161番（代表）
内線 281

九月定例会
一般質問から

各会派を代表して6人の議員の一般質問が行われました。主な質問と答弁を紹介します。

公明党 鈴木茂行議員

地域イントラネット基盤整備事業について

質問 昨今、IT（情報技術）という言葉が新聞に載らない日はなく、日増しにこれを活用した情報交換、取引、ビジネス、コミュニケーションなどが活発になり、人々の生活や企業活動、行政などに大きな変化が求められてきているが、❶地域のコミュニケーションを助ける道具とするなどイントラネットの活用策について。❷行政が保有する情報を住民へ提供する施策について。❸庁内情報共有化により市長の意思等も現場へ直接伝えることが可能となり、逆に現場からのボトムアップも可能になる。当然組織としての意思決定の在り方も変化していくと思うが、その際どのようなシステムを構築するのか。これらについて市長の見解を伺う。

答弁 ❶本市のイントラネット整備事業は行政情報の提供や行政相談など行政対市民、行政対地域が中心となっているが、今後、市民や地域の情報交換の一つの道具として活用できるよう研究していきたい。❷今回の情報公開条例案では請求に基づく情報公開と市が自主的に行う情報提供の充実・推進もうたっており、今後も市の保有する情報は市民の方々との共有財産と位置づけ、情報提供施策の充実を図っていく。❸現在、職員への意思の伝達は文書・口頭等で行っているが、イントラネットが整備されることにより迅速かつ的確に意思疎通が行われるものと考えており、電子決裁の導入等も合わせて研究し、事務事業及び組織の改革に柔軟に対応できる行政システムを構築していく。

サハリン油濁事故対策について

質問 ❶本市の地域防災計画にサハリンの油田事故やタンカー事故対策についての項目を設けるべきでは。❷市長がサハリンを訪問した際、事故対策についてどのような働きかけをしてきたのか。❸宗谷海峡を通過するタンカー事故に備え、国や道に働きかけ、国レベルでの対策を要請すべきでは。これらについて市長の見解を伺う。

答弁 ❶宗谷支庁で実効性のある対応マニュアルを今年度中に作成するとしており、これに基づき本市の地域防災計画にも反映させていきたい。❷本年4月にサハリンのフェムコ社及びスリーエス社に申し入れしたほか、5月にもスリーエス社に再度事故対策について要請を行っている。❸市としては、沿岸都市協議会を通じ外洋対応型油回収船のオホーツク海域への配備、国際強力体制の構築、原油積出しタンカー事故防止対策等を国や道に対して積極的に要望していく。

その他の質問事項

- 「スポーツ都市」宣言における施設整備の充実について
- 教育問題について
- 市町村合併について

日本共産党 三谷典子議員

高齢者保健計画と介護保険について

質問 ❶郊外に居住している介護利用者に対応する訪問介護事業者の交通費助成などの支援策が必要でないか。❷ホームヘルパー不足を打開するための施策は。❸在宅介護支援センターの機能充実について。これらについて、市長の見解を伺う。

答弁 ❶介護保険実施にあたり遠隔地の交通費等に15％の加算が可能であるが、サービス提供事業者と協議した結果、加算なしでも事業運営が可能であるとの回答を得て現在に至っている。❷現在、市内には3つの訪問介護事業所に47名のヘルパーが所属しているほか、2級ヘルパー養成講座を2回開催して修了者も70名に達しており、今後の需要増に十分対応できると認識している。❸現在、在宅介護支援センター業務を3ヵ所に委託しているが、各センターとも独自の居宅介護支援業務を遂行しているため、担当職員の職務は複雑多岐になっているのは事実である。市が委託している業務に支障が出るようであれば、受託事業者に対して職員の増を図るなど必要な指導を行っていく。

深地層研究所（仮称）計画について

質問 深地層試験研究は、高レベル放射性廃棄物の処理・処分の方法が未だ定まらず安全性も十分確立されていない段階での実証研究であり、❶この研究施設自体が将来処分場になる可能性が大きいため、はっきりとした反対の意思表示を行うべきでは。❷北海道は「深地層試験研究所を認める場合は核の持ち込みを認めない」という協定を核燃料サイクル開発機構と結ぶことが有効との見解だが、最終処分場選定には何も権限がないこの組織との協定は担保にならないのでは。❸「放射性廃棄物を持ち込まなければ深地層研究を認める」ということは「核のごみ」を他府県に押しつけることになるのでは。❹北海道知事に対し「住民投票を行い住民合意が得られない場合、計画を返上するべき」との意見を言うべきではないか。これらについて、市長の見解を伺う。

答弁 ❶市民アンケートの結果から、計画に対する反対や核燃料サイクル開発機構に不信感を抱いていることは十分承知している。したがって、今後の道議会等の論議の推移をみて判断していく。❷北海道も当事者間の契約行為である「協定」が担保措置としては有効な方策であると考えており、私も同様の考えでいる。❸設置済の原子力発電所から排出される放射性廃棄物の処理は今後の国民的課題と考えている。❹現在、道議会において審議を行っており、論議の推移を見守りたい。

その他の質問事項

- 消費税増額と医療保険制度改悪案について
- 教育問題について
- 少子化に対応するエンゼルプランについて

政友会
田森和文議員

国立療養所稚内病院の経営移譲問題について

質問 国は昭和60年に国立病院・療養所の再編成・合理化の基本指針を決定したが、計画の遅れから平成8年に改正し引き続き統廃合や経営移譲を進め、計画どおり進まない施設は平成12年度末に廃止もやむなしと決定した。今回の経営移譲問題は、市立病院の再建策や国立病院の経営移譲後の患者動向・経営分析調査、さらには本市のおかれている保健福祉の現状を考えたとき様々な課題を抱えており、宗谷管内の広域的な課題として慎重に検討すべきと考えるが、市長の見解を伺う。

移譲対象となっている国立病院

答弁 国立療養所稚内病院は昭和61年に移譲対象施設とされ、以来国に対し存続を働き掛けてきたが存続は非常に難しく、また、仮に移譲・譲渡を引き受けるとしても病院の再編成に伴う特別措置に関する法律の規定が厳しく、高いハードルが課せられている。この現状打開を図るべく諸々の検討を加えてきたが未だ方針を定めることができておらず、今後も貴重な医療資源を失うことになるという危機感を持ちながら存続に向けて努力を続けていきたい。

精神障害者地域生活センターについて

質問 本市には平成8年から14年までを計画期間とする稚内市障害者計画があり、その中で精神障害者の社会復帰や自立と社会参加の促進を目的とし精神障害者地域生活支援センターを整備するとなっている。しかし、施設建設費の1/4と補助対象外の費用は施設設置者の負担となり、しかも運営経費のほぼ全額が道の補助で行われ余剰資金を生む仕組みではないことから建設費の一部でも設置者に負担させることは不可能である。したがって、市として必要な施設であると判断するならば思い切った補助策を講じるべきではないか。市長の見解を伺う。

答弁 精神障害者対策は長く医療に委ねられてきたが、近年は市民との共生が求められ、そうした方々の社会復帰と自立・社会参加を促すため、地域生活支援センターは必要不可欠なものと認識している。施設建設については北海道からも強く要請されており、出来るかぎり支援していきたい。

その他の質問事項

- 総合型地域スポーツクラブとスポーツ振興計画について
- 機構改革と効率化の問題点について
- 宗谷岬えこ・ぴれっじ事業に対する宗谷畜産開発公社と稚内市の関わりについて

市政クラブ
三宮正人議員

補助金の見直しについて

質問 本市ではここ数年補助金を9億円から12億円支出しており、あらためて補助を出している市側も受けている側も市民の税金を運用しているという意識を高めるべきである。また、補助金の中には何年も続けて当たり前のようになっているものもあり、現実に議会の度に各種補助金の問題が論議されるのは、予算に対する審査方法に問題が多くあるからなのではないか。現在のような情報公開がより進んだなかでの対応として、補助金決定などに対するシステムの改善が必要と思われる。例えば千葉県我孫子市の補助金交付システムなどは今までの補助金を全て白紙に戻し、あらためて補助申請の公募を行い検討委員会で審査・決定するシステムを導入しており、これらを参考にし本市でも新たな補助金交付システムの導入が必要ではないか。市長の見解を伺う。

答弁 補助金の見直しについては、行政改革の取り組みのなかで平成8年度に「補助金の抑制に関する執行方針」を策定し、全庁的に補助金の適正化について周知してきた。しかし、あくまで行政内部での審査過程で行われるものであるため、補助事業の取捨選択というより補助金額の削減という面が強く補助対象事業を決定するシステムの改革までには至っていない。我孫子市で取り組んだ第三者機関による審査方法は補助金の効果的な活用に成果を上げ、成功した例として全国的な評価を受けているシステムである。今後このシステムが本市の現状にあうかどうかも含め検討していく。

情報収集能力の充実と市民サービスの向上について

質問 市長は普段より市役所は最大のサービス産業であると言っており、窓口サービス課やまちづくり市民会議など市民サービスに対する行政改革や事業は進んでいるが市役所を一企業とした場合、営業部門が弱い部門として考えられると思うが、普段から国・道に対し市役所全ての部門が営業活動としての積極的な情報提供やコミュニケーションが不足しているのではないか。また、現在、国が10兆円規模の景気浮揚対策予算を組んでいるなかで、国や道の予算と連携した事業を推進し市民サービスの向上へつなげる営業活動を強化していく考えはあるか、市長の見解を伺う。

答弁 本市の営業活動は、これまで国及び道との各種事業予算化のための定例的な要望活動を毎年6月に庁内の各部門で計画・要望をとりまとめ、宗谷地域総合開発期成会の活動として行っている。また、各部門においても日頃から事業化に向けた計画づくりや要望・課題について地元官公庁との積極的な意見調整を行っており、今後もより一層の地域振興や市民サービスづくりに努めていきたい。

その他の質問事項

- 行政評価システム導入について

市民クラブ
山田繁春議員

医療の充実について

質問 ❶診療材料費の節減について何度も改善を求めているが一向に改善されていない。実態と問題点がわかっているのだから経営コンサルタントに頼る前に、医者も含め自分たちの力で改善するべきであり、どう取り組まれているのか。❷市立病院の総合的な在

り方に関する構想を練るため検討機関を庁内に設置すると答弁しているが、その後どうなっているか。❸開業医誘致条例の制定について考えているのか。また、考えているならば今後どのように進めていくのか。これらについて、市長の見解を伺う。

答　弁　❶経営改善委員会では外部コンサルタントの経営診断も視野に入れて考えていたが、議会の指摘もあり、まず問題点の再認をし自助努力で行うべきとの結論が出され、本年度はその意向も反映され、医師自ら納入単価の低い材料への切り替え申請や造影剤の再度見積もり合わせを行い、薬価差の大きい製品の併用も実施してきている。今後とも節減に向けて努力していく。❷市立病院の在り方に関して総合的な構想を練る機関の設置は必要と判断しており、今後、早急に立ち上げたいと考えている。❸開業医として勤医協、禎心会、吉田医院などの進出もあったが、まだ1次医療を担う開業医が少ないことから、医師の勤務医指向や患者の総合病院での受診指向などを十分踏まえながら、積極的に考えていきたいと思っている。

新商品開発への支援策について

質　問　市長は最近、生活を支える産業の充実のために新商品開発への積極的な支援をしたいとして、助成条例の制定を検討すると言っているが、❶助成条例の制定というのは、現行の中小企業振興条例による助成制度の拡大のことなのか。それとも新たな条例の制定を考えているのか。❷支援センターの設置についての構想は。これらについて、市長の見解を伺う。

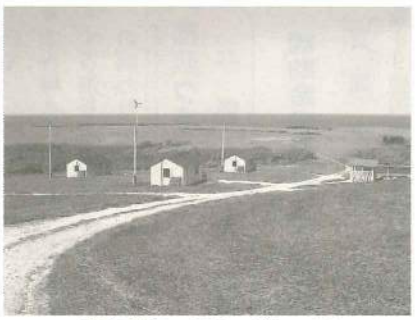
答　弁　❶現行の中小企業振興条例と趣旨や目的は異ならないが、各企業がもっと売れる商品や新技術の研究開発に取り組みやすい環境を整えるため、現行条例の改正及び新制度を含め検討していく。❷支援センターとして考えているのは、市内の企業が単独で購入することが困難な機械や設備を共同で使用できる機能的な役割を担う施設であり、各企業が機械設備を共同で利用できる機能を有し、なおかつ大消費地への積極的な売り込みや販路拡大なども併せ持つ施設づくりを検討しなければならないと考えている。

その他の質問事項
- 市長の政治姿勢について
- 図書館建設について
- 総合窓口サービスについて
- 職員採用の在り方について
- 高齢者保健福祉計画について
- 市の花について
- 幌延の深地層試験研究所計画

民主クラブ　松本勝利議員

宗谷畜産開発公社に関わる諸問題について

質　問　❶先に新聞でも報道された宗谷家畜商業協同組合の事業である素牛流通円滑化対策事業に公社が関わった事実を明らかにするべきである。また、関係した職員に対する処分の考え方について。❷宗谷岬えこ・びれっじ事業に関し、農用地転用許可を受ける前の事前着工や公社内部の手続き上の問題など疑問が多く、責任所在を明確にする必要がある。これらについて、市長の見解を伺う。



宗谷岬内　えこ・びれっじ

答　弁　❶質問の補助金問題に公社が関わったのは、肉用牛預託事業契約の理事長印の押印、預託のための素牛リストの提出、事業の事務経理のための預金口座の開設及び預金払戻請求書数枚への銀行印の押印である。これらは組織の決定を得ずに行ったものであり、この処理を行った職員には厳重に注意をしているが、厳しい処分は免れないと判断している。なお、公社の役員会・理事会でも適正な処分を行うべきとの結論に至っている。❷えこ・びれっじ事業が同公社の総会で承認されたときから申請が必要であることは承知していた。しかし、転用許可前の着手は担当部署の報告により知ったのが実態で、直ちにその対応方法を指示した。この件についても管理監督の立場にある職員を含めて処分を行っていく。

まちづくり委員会について

質　問　まちづくり委員会は本市を13地区に分け、それぞれの地区の地域住民の自主的な検討を行うため組織されているが、❶この組織は市長の私的諮問機関なのか。あるいは行政推進上の地域組織として設立するのか。❷市長の市政懇談会的なイメージがあるのか。❸この組織がなぜ必要なのか。これらについて、市長の見解を伺う。

答　弁　❶地方分権時代を迎え、市民が市政に参画できる一つの手法としてまちづくり委員会を提案した。したがって、市長の私的諮問機関や行政推進上の地域組織ではない。❷同委員会は、地域の意見や要望を市政に反映させるほか地域毎にテーマを設定し、施策に反映させる実践の場であってほしいと期待している。したがって、地域の要望を陳情形式で行う市政懇談会とは一線を画するものである。❸市民が市政に参画できる手法の一つとして選択した。また、要望意見の整理実行については地域担当職員の責任のもと庁内企画調整会議等で調整し進めていく。

その他の質問事項
- 行政機構について
- 市立稚内病院の看護体制の充実

各常任委員会　道外行政視察

○総務常任委員会
- ●日　時　10月16日～19日
- ●視察先及び調査項目
  - ❶千葉県松戸市
    - ・積極的に地域に出る「すぐやる課」について
  - ❷千葉県我孫子市
    - ・補助金の公募制度の導入

○民生文教常任委員会
- ●日　時　10月23日～26日
- ●視察先及び調査項目
  - ❶東京都多摩市
    - ・市民主体でNPO支援センターを設立し運営
    - ・社会教育関連情報システム
  - ❷埼玉県狭山市
    - ・図書館再生プロジェクト
    - ・ふれあい健康センター

○建設産業常任委員会
- ●日　時　10月16日～19日
- ●視察先及び調査項目
  - ❶埼玉県吉川市
    - ・市民交流センター
    - ・地域振興とナマズについて
  - ❷東京都八王子市
    - ・夕やけ小やけ文化農園
    - ・学園都市センター

各特別委員会から

議案特別委員会では各会計補正予算、各条例案等の審査を、決算特別委員会では各会計決算の審査をそれぞれ行いました。主な質問要旨を紹介します。

議案特別委員会（補正予算）

- 景気対策に対する補正予算の配慮と予備費の運用について
- 稚内空港での乗降用通路の活用について
- 広報活動等市民意識調査業務の委託先及び内容と町内会組織の協力を求めた調査の検討は
- 町内会未加入世帯への広報紙配付に対する行政見解は
- 東京直行便に関して
  市民助成額の妥当性、市民ツアーの計画、市民の座席確保等
- 障害者の運転免許取得に対する扶助費の利用ＰＲと実績、効果は
- 国民健康保険事業特別会計繰出金の減額理由は
- 一般廃棄物処理計画と国道沿いにある廃車処理業者との係わりは
- 青少年会館改修工事の概要と実状の把握について
- 各私立幼稚園における三歳児就園に対する取り組みは

議案特別委員会（条例）

- 情報公開及び個人情報保護条例に関して
  請求権者、公文書の扱い、開示文書の年度、公開の範囲、文書管理規程の条例化、職員採用試験の採点基準の公開、出資法人の公開、審査会等について
- 介護保険料金の減免について
- 訪問介護利用者負担金について

決算特別委員会

- ＪＲ南稚内駅横の駐車場の利用時間延長について
- 地域振興券の利用実態について
- 海員会館玄関前の看板等の適正管理について
- 庁用車の購入内訳と低公害車の購入検討について
- 公社等の決算に関して
- 職員研修と人事異動の関連性は
- 生ごみ処理用コンポストの助成状況と他の処理の検討について
- はまなす地区の悪臭について
- 稚内聖苑の改修や管理に関して
- 水産公社への貸付金の検討と過去の実績について
- 中小企業への振興策（補助金関係）について
- 地域産業集積活性化調査業務経費の内容と具体例について
- みなと南極まつりの踊りの評価と参加人員の減少理由について
- 観光振興に関して
  イベント・コンベンション誘致、白鳥まつりの際のバス乗り入れ、宗谷丘陵展望休憩施設の管理と委託、南極ハイランド実行委員会補助金の内容及び観光客の入り込みと評価、観光宣伝広告等経費の内容と効果、市と協会の役割を明確にしたガイドブックの作成と委託料・補助金の使い分を
- 水族館の入館実績と今後の方針
- 冬期に道路散布したスリップ防止砂利の融雪後の処理と砂利のサイズについて
- 動物ふれあいランドの管理状況と今後の計画について
- 稚内空港に関して
  欠航状況、計器誘導飛行の計画、整備の要望内容
- 稚内公園とロープウェイの運行に関して
- 市営住宅の修繕等に関して
- 地方港湾審議会の計画的な開催と有効活用について
- 文化協会の経理内容について
- 学校給食費の滞納解消について
- 非行生徒の把握と指導について
- 市立病院に関して
  医療費未収金、駐車場の管理、外来患者数減と開業医の関係、院外処方と薬剤師数、服薬指導状況、赤字解消策、医療機器の性能、一般会計からの繰入れの見通し、地域センター病院の使命と役割、診察待ち時間明示対策

採択された請願及び要望意見書

平成十三年度　酪農・畜産政策・価格政策に関する請願及び安定した酪農畜産経営確立のための要望意見書

北海道の酪農・畜産は、後継者不足・固定化負債・労働過重・環境問題などの構造的な問題やＷＴＯ体制による国際化の進展により、厳しい競争を強いられております。したがって政府は生産努力目標等の実現に向けた総合施策の確立・新たな酪農対策の具体化・畜産経営安定対策の確立・酪農畜産関連対策の実現を図るよう求める。

「自然エネルギー発電促進法」の早期制定を求める要望意見書

平成9年12月に京都で開催された気候変動に関する国際連合枠組条約締約国会議で交わされた京都議定書において、我が国は国際的公約として二酸化炭素等の温室効果ガスの削減目標を決定したところであります。したがって政府は地球温暖化防止の趣旨を踏まえ、地域活性化にも貢献する「自然エネルギー発電促進法」の制定に取り組むよう強く要望する。

道路特定財源等に関する要望意見書

道路は豊かな道民生活の実現と活力ある経済・社会活動を支える最も基礎的な施設であり、その整備は、道民が等しく熱望している。したがって政府は、新道路整備五箇年計画に基づき、道路特定財源制度及び道路整備特別会計制度を堅持するとともに、市町村道から高規格幹線道路に至る道路整備を一層促進すること・冬期交通の安全確保のため、新積雪寒冷特別地域道路交通五箇年計画を一層推進すること等について強く要望する。

各会派　行政視察情報

○政友会・公明党・民主クラブが今回は合同で先進都市に視察へ赴きました。
- 時　期　11月18日～22日
- 視察地　沖縄県石垣市
  沖縄県名護市
- 調査事項
  ・議会運営について

○市政クラブが先進都市に視察へ赴きました。
- 時　期　11月19日～22日
- 視察地　埼玉県志木市
- 調査事項
  ・環境基本計画について

○市民クラブがサハリン州に視察へ赴きました。
- 時　期　9月9日～12日
- 視察地　ユジノサハリンスク市
- 調査事項
  ・文化交流の現況調査について

北方圏等海外諸国行政視察について

○今回、5年ぶりに北海道市議会議長会が主催する海外視察に2名の議員が参加しました。

・参加議員　前田修悦議員
　館農恒一議員

・日　時　10月25日～11月5日

・視察先　①イギリス
　②デンマーク
　③スイス
　④フランス

・調査項目　①民主主義発祥の地の議会システム等
　②デンマークの効率的議会システム等
　③ジュネーブ日本領事館表敬訪問
　④フランスの議会システム等

フランス：ムーラン市役所

本会議と各委員会の出欠状況

議員名＼区分	出席すべき日数（本会議・各委員会）	出席日数	欠席日数	議員名＼区分	出席すべき日数（本会議・各委員会）	出席日数	欠席日数
石塚　公次	13	10	3（私）	中井淳之助	20	20	
岡本　雄輔	15	15		藤谷　良幸	15	15	
小林侃四郎	13	12	1（私）	山田　繁春	13	12	1（私）
田森　和文	22	22		生田目幸男	20	20	
前田　修悦	20	19	1（私）	長谷川喜市	15	15	
河合　慎一	13	10	3（私）	松本　勝利	13	13	
河野　至緒	13	13		斉藤　信義	13	13	
菅原　清治	13	13		三谷　典子	22	22	
竹村　海一	13	13		魚住　光信	20	20	
三宮　正人	22	22		東方　豊松	22	22	
越後谷亮一	22	20	2（私）	小林美和子	18	1	17（病）
鈴木　茂行	13	12	1（私）				
館農　恒一	20	19	1（私）				

注：(1)出席すべき日数は、8月1日から11月27日までの状況。
　　(2)欠席日数欄中(公)は公用、(私)は私用、(病)は病気の意味。

議会日誌

8月
1・福山市議会議員来局
2・大津市議会・八王子市議会議員来局
3・尾道市議会議員来局
4・名護市議会議員来局
7・平塚市議会・大泉町議会議員来局
8・名古屋市議会・宇都宮市議会議員来局
9・**総務常任委員会**・各会派幹事長会議・豊川市議会・福島市議会議員来局
10・**民生文教常任委員会**・**議会運営委員会**・各会派代表者会議・正副委員長会議
11・**建設産業常任委員会**
22・台東区議会議員来局
24・小牧市議会・山鹿市議会議員来局
25・**第5回臨時会（本会議）**・**議会運営委員会**・議案特別委員会
28・下関市議会・福井市議会議員来局・日ロ極東シベリア北海道2000年会議（サハリン州）
29・東松山市議会・高瀬町議会議員来局

9月
5・北茨木市議会議員来局
6・**総務常任委員会**
7・**民生文教常任委員会**・各会派代表者会議
8・**建設産業常任委員会**
21・**議会運営委員会**・各会派代表者会議
25・秩父市議会議員来局
27・**第6回定例会（本会議）**・**議会運営委員会**・決算特別委員会・笠岡市議会議員来局
28・桑名市議会議員来局

10月
2・**本会議**・**議会運営委員会**・各会派代表者会議・相模原市議会議員来局
3・**本会議**・清瀬町議会議員来局
4・**議会運営委員会**・議案特別委員会
5・**議会運営委員会**・議案特別委員会・丸亀市議会議員来局
6・**本会議**
10・**議会運営委員会**・決算特別委員会
11・**本会議**・決算特別委員会・議会だより編集委員会
16・**民生文教常任委員会**・安中市議会議員来局・総務常任委員会道外行政視察・建設産業常任委員会道外行政視察（19日まで）
17・石垣市議会・丸亀市議会議員来局
18・福井市議会議長会来局
19・武蔵野市議会議員来局・北海道市議会議長会道北支部議長会（富良野市）
23・民生文教常任委員会道外行政視察（26日まで）

11月
8・**総務常任委員会**・各会派代表者会議
9・**民生文教常任委員会**
10・**建設産業常任委員会**
16・全国市議会議長会基地協議会理事会（東京都）・議会だより編集委員会
24・**民生文教常任委員会**
27・福岡県粕谷地区副議長会来局

12月定例会の日程

4日　**本会議（ナイター）**
・一般行政報告
・予算・条例・単行議案の上程
5日～6日　休　会
7日～8日　**本会議（ナイター）**
・一般質問
9日～10日　休　会
11日～12日　**議案特別委員会**
・予算・条例・単行議案の審査
13日　**本会議**
本会議は5階議場で、議案特別委員会は5階正庁の間でそれぞれ開きます。

編集後記

本格的な冬将軍の到来の季節となりました。20世紀もあとわずかです。

この100年の世界の歩みの中で、稚内市の歴史もまた老若男女を問わず、市民一人一人の手によって克明に刻み込まれてきました。

今議会では、情報公開条例や個人情報保護条例の制定などが行なわれ、「市民の知る権利」と「個人の権利と利益を保護」することが盛り込まれました。

明るい21世紀を創造していくためにも、市民に開かれた公正な市政のあり方がより一層求められることになりましょう。

市民の皆様からの忌憚の無い御意見をお寄せ下さい。

議会だより編集委員会

議会を傍聴しませんか

☆手続きは簡単です☆

◆お問い合せは
　議会事務局
　（☎23－6161・内線281）まで